

で気を配る、くどく説明する)、think outside the box (箱の外で考える→既成の枠にとらわれずに考える)、separate the wheat from the chaff (小麦を脱穀する→良いものと悪いものを分ける)などの比喩的イディオムも、その奇妙な響きとふるまいから、聞き手に強い印象を残し、多くの母語話者はいつの間にか自然に身につけていると考えられます。

■ 比喩的イディオムの学習法①：由来を理解する

比喩的イディオムを効果的に覚える一つの方法は、その由来を理解することです⁴。例えば、bite the bulletは「弾丸を噛む」が文字通りの意味ですが、「困難に敢然と立ち向かう」という意味の比喩的イディオムです。麻酔が普及する以前、負傷した兵士が手術の際に弾丸などの固い物を噛んで苦痛に耐えたことから、このような意味になったと言われていました(Oxford Dictionary of Idioms)。「bite the bullet = 困難に敢然と立ち向かう」と丸暗記するのではなく、由来とともに覚えることで、習得しやすくなります。

日本語でいえば、「二枚目=美男」と機械的に暗記するのではなく、「歌舞伎の番付で2番目に美男が書かれたことから、『二枚目=美男』という意味になった」と理屈をつけると覚えやすくなるのと似ています(なお、番付の3番目には滑稽な役をする俳優が書かれたことから、「三枚目」は「お調子者、滑稽なことを言ったりしたりする人」という意味になりました)。

比喩的イディオムの由来を知る上では、『詳説英語イディオム由来辞典』(三省堂)、『英語クリシェ辞典：もんきりがた表現集』(研究社)、Oxford Dictionary of Idiomsなどの書籍や、The Phrase Finder (<https://www.phrases.org.uk/>)などのウェブサイトを用いると良いでしょう。ま

4 Boers, F., Demecheleer, M., & Eyckmans, J. (2004). Etymological elaboration as a strategy for learning figurative idioms. In P. Bogaards & B. Laufer (Eds.), *Vocabulary in a second language: Selection, acquisition and testing* (pp. 53–78). John Benjamins.

た、各種の英和辞典にも多くの比喩的イディオムの由来が解説されています。

◆クイズ：比喩的イディオムの由来

以下の比喩的イディオムの由来は何でしょうか？ 考えてみましょう。

| 比喩的イディオム | 字義的な意味 | 比喩的な意味 |
|--|----------------|--------------------------|
| 1. play it by ear | 耳で演奏する | 臨機応変にやる、ぶっつけ本番でやる |
| 2. hit the hay | 干し草をたたく | 就寝する、床につく |
| 3. put ... on the back burner | ～を奥のバーナーに置く | ～を後回しにする |
| 4. put [lay] one's cards on the table | テーブルに自分のカードを置く | 手の内を見せる、計画[意図]を明かす |
| 5. swan song | 白鳥の歌 | 最後の作品[演技]、辞世、絶筆 |
| 6. bury the hatchet | まさかりを埋める | 仲直りする、和睦する |
| 7. back to the drawing board | 製図板に戻って | 振り出しに戻って、一からやり直す |
| 8. be set in stone | 石に刻まれた | (ふつうは否定文で) 変えられない、確定している |
| 9. steal [run away with] someone's thunder | 他人の雷を盗む | 人の工夫[発明]を横取りする、お株を奪う |
| 10. in seventh heaven | 7つ目の天国で | 有頂天になって、最高に幸せで |

正解は以下の通りです。

1. 譜面なしで音楽を演奏することから。
2. 昔は干し草の上に寝ていたことから。
3. ガスレンジの奥のバーナーは火力が弱いことから。
注) put ... on the front burner (～を手前のバーナーに置く) は「～を最優先にする」という意味。
4. トランプで自分の持ち札をテーブルの上に置いて見せることから。
5. 白鳥が死ぬときに歌うという言い伝えから (実際は歌わない)。
6. 米国先住民が和睦する時にまさかり (トマホーク) を埋めた慣習から。
7. 設計や計画の際に用いる製図板の段階に戻ることから。
8. 旧約聖書でモーセが神から授かった、石に刻まれた十戒から。
9. 英国の劇作家 John Dennis の言葉から。自身が考案した雷鳴の舞台効果を競争相手に盗まれたとき、**They will not let my play run, but they steal my thunder.** (奴らは俺の芝居は上演しないくせに、雷を盗みやがる) と口にしたとされる。
10. ユダヤ教で第7天 (the seventh heaven) が最上層天とされたことから。

注) *Oxford Dictionary of Idioms* (Oxford University Press), *The Phrase Finder* (<https://www.phrases.org.uk/>) および『詳説英語イディオム由来辞典』(三省堂)などを元に作成。

◆由来は諸説ある場合も

由来に関して諸説ある比喩的イディオムもあります。例えば、on cloud nine は「とても幸福である、心が浮き浮きしている」という意味で、1950年代に Yours Truly, Johnny Dollar という米国のラジオ番組をきっかけに広く使われるようになったと言われています。このイディオムは、「米気象庁が一つの雲を9タイプに分類した最上層部」(リーダーズ英和辞典 第3版) が cloud nine にあたるため、「非常に高いところ」=「天にも昇る心地」という連想から、「とても幸福である」という意味になった

という説があります。

しかし、実際には米気象庁は雲を9ではなく10段階に分類しており (*Oxford Dictionary of Idioms*)、なぜあえて最上層部の cloud ten ではなく、上から2番目の cloud nine にしたのか定かではありません。歴史を遡ると、on cloud nineに加えて、on cloud seven, on cloud eight, on cloud thirty-nine などの用例も見つかり、nine という数字自体にあまり意味はないという説もあります (cloud seven は、the seventh heaven「第7天」という表現の影響を受けていると言われています)⁵。

なお、近年では cloud nine では物足りないというニュアンスをこめて、on cloud ten という表現を使用する人もいます⁶。雲の10段階分類の観点からは on cloud tenの方がより正確ですが、果たしてこの表現は今後定着するのでしょうか？

◆由来を理解することは不可欠か？

英語の母語話者であったとしても、あらゆる比喩的イディオムの由来を正しく理解しているわけではありません。例えば、be on the ropes は「絶体絶命で、すっかりまいって」という意味の比喩的イディオムですが、ふらふらになったボクサーがリングのロープにもたれかかっている様子が由来だと言われています。しかし、日本で英語を教える米国出身のある知人は、「ロープの上を綱渡りのように歩くのは危ないから、be on the ropes は『絶体絶命』という意味になる」と勘違いしていたそうです。

このように、英語の母語話者であったとしても、比喩的イディオムの由来を誤解していることは珍しくありません。ですから、英語学習者である我々が比喩的イディオムの由来をすべて正しく理解する必要はないでしょう。

考えてみれば、日本語でも正確な由来を知らずに使っている表現は少な

5 <https://www.phrases.org.uk/meanings/on-cloud-nine.html>

6 <https://www.phrases.org.uk/meanings/on-cloud-nine.html>

自然と感じる話者も多いようです（代わりに **big eater** などの表現が一般的です）²。

比喩的イディオムほど語彙的な固定度は高くないものの、一定の制約があるため、コロケーション習得は容易ではありません³。英語上級者とそれ以外を分けるのは、コロケーションの能力だという説もあるくらいです。

◆ 両者の境界は曖昧

比喩的イディオムとコロケーションの違いを表にまとめると、次のようになります。

| | 意味の予測しやすさ | 語彙的な固定度 |
|----------|-----------|---------|
| 比喩的イディオム | 低 | 高 |
| コロケーション | 高 | 低 |

しかし、上の表に示した違いは原則であり、両者の境界はあいまいであることに注意しましょう。

具体的には、比喩的イディオムは語彙的な固定度が高いのが原則ですが、例外もあります。例えば、**skate on thin ice** は「薄氷を踏む、危ない橋を渡る」という意味の比喩的イディオムで、**He's skating on thin ice by constantly arriving late to meetings.**（彼は会議に遅刻してばかりで、危ない橋を渡っている）のように使います。この比喩的イディオムでは、動詞 **skate** を **be, stand, tread, walk** などに置き換え可能です。すなわち、**If he continues to overlook his deadlines, he'll be standing [treading, walking] on thin ice at work.**（このまま締め切りを無視し続ければ、彼

2 Taylor, J. R. (2003). *Cognitive grammar*. Oxford University Press.
注)「コンパスローズ英和辞典」など、heavy eater を掲載している辞書もあります。

3 Read, J., & Dang, T. N. Y. (2022). Measuring depth of academic vocabulary knowledge. *Language Teaching Research*. Advance online publication.

は仕事で薄氷を踏むことになるだろう）のように言うこともできます。なお、筆者は夫婦喧嘩の際に、妻（米国出身）からいつも **You're on thin ice.**（もう後がないよ）と警告されています。**skate [be, stand, tread, walk] on thin ice** は比喩的イディオムでありながら、語彙的な自由度が高い（＝固定度が低い）といえます。

また、**let the genie out of the bottle** は「魔人を瓶から出す」が文字通りの意味ですが、「取返しのつかないことをする」という意味の比喩的イディオムです。このイディオムには、**The genie is out of the bottle.**（状況は決定的に変わった、大きな変化が起こる）や、**put the genie back in the bottle**（「好ましくない」変化を元に戻す、事態を元の軌に納める）などのバリエーションがあります。**skate [be, stand, tread, walk] on thin ice** と同じく、固定度が低い比喩的イディオムといえるでしょう。

さらに、コロケーションは、意味が予測しやすいものが大半ですが、例外もあります。代表例が、基本動詞の軽動詞（light verb）的用法を含むコロケーションです⁴。軽動詞的用法とは、**give / have / make / take** などの基本動詞が、動詞本来の意味をあまり持たずに使われることです。例えば、**make a promise**（約束する）、**make progress**（進歩する）、**make a discovery**（発見する）では、**make** 本来の意味はほとんど失われています。

軽動詞的用法を含むコロケーションの例を以下に示します。

◎ give の軽動詞的用法を含むコロケーション

| コロケーション | 和訳 |
|----------------|----------|
| give birth | 出産する |
| give a lecture | 講義する |
| give a party | パーティーを開く |

4 「軽動詞的用法」の代わりに、「脱語彙的用法」（delexical use）ということもあります。

| | |
|-----------------------------------|---|
| once a criminal always a criminal | 1 |
| once a cop always a cop | 1 |
| once a con always a con | 1 |
| once a cobra always a cobra | 1 |

3. not so much B as [but] A

「BというよりむしろA」という意味で、more A than B や rather A than B とほぼ同じ意味です。例文を以下に示します。

A: Donna tells us you were meeting with economic advisers?

(ドナによると、経済顧問と打ち合わせしていたとか)

B: **Not so much meeting as fighting off slipping into a coma.**

(打ち合わせというより、眠気と戦っていただけですよ；West Wing シーズン5 エピソード4 より)

It wasn't **so much an idea, as it was an example of an idea.**

(それは提案というよりは、提案の一例にすぎなかったんだ；Schitt's Creek シーズン2 エピソード5 より)

注) 事業計画の一例としてベグルショップに言及したところ、それを聞いた相手が真に受けて本当にベグルショップを始めようとしていることを諷めるセリフ。

この構文は not B so much as A の語順になることもあります。具体例を以下に示します。

To be fair, it's **not a cake so much as it is a vegetable loaf.**

(正確に言えば、ケーキというよりもベジタブルローフです；Parks and Recreation シーズン3 エピソード9 より)

ケーキを用意するように言われたのに、キノコやほうれん草から作った健康的な野菜のおやつ（ミートローフならぬベジタブルローフ）を持ってきてしまった人物のセリフです。not B so much as A の構文が使われています。

4. What A lacks in B, A makes up (compensates) for in C.

「AはBの不足をCで補っている、埋め合わせている」という意味です。例文を以下に示します。

What John lacks in experience, he makes up for in enthusiasm.

(ジョンは経験不足を熱意で補っている)

What the apartment lacks in space, it compensates for in location.

(そのアパートは狭さを立地で補っている)

What the team lacks in skill, it makes up for in teamwork.

(そのチームは技術不足をチームワークで補っている)

次のように、make up for in の代わりに、make up for with となる場合もあります。

What I lack in memory I make up for with exceptional powers of deductive reasoning.

(私は記憶力はイマイチだが、並外れた推理力で補っている；The West Wing シーズン4 エピソード2 より)

また、単に「補う」だけでなく、「補って余りある」と言う際には、make up for ではなく、more than make up for となります。

■ 映画由来の表現

映画から生まれたイディオムに **bucket list** があります。文字通りには「バケツのリスト」という意味ですが、「死ぬまでにやっておきたいことのリスト」という意味で使われます。このイディオムは同名の 2007 年の映画（邦題は「最高の人生の見つけ方」）から広まりました。

bucket list は **list of things to do before I kick the bucket** の略です。**kick the bucket** は「死ぬ」という意味の比喩的イディオムなので、「死ぬ (= **kick the bucket**) までにしたいことのリスト」という意味になります。映画ではジャック・ニコルソンとモーガン・フリーマン演じる余命わずかな 2 人の老人が **bucket list** を手に病院を抜け出し、世界を旅する様子が描かれました。

このイディオムは英語に定着し、**Bungee jumping has always been at the top of my bucket list.**（バンジージャンプは、私が死ぬまでにしたいことのリストの常にトップにある）のように使われます。そのほか、**my bucket list while living in Australia**（オーストラリアに住んでいる間にしたいことのリスト）や **a bucket list of all the things I want to do before I turn 40**（40 歳になるまでにしたいことのリスト）のように、死ぬまでとは限らず、単に「やりたいことのリスト」という意味で使われることもあります。

■ テレビ由来の表現

テレビ番組からも多くの **modern idioms** が生まれています。特に、1994 年から 2004 年まで放送され、その後も再放送が続く米国のシチュエーションコメディ **Friends** からは、**friend zone**（お友達状態：片思いをしているが恋人になれず、友達の域にとどまっている状態）や **How you doin'?**（調子どうだい？）など、多くの **modern idioms** が生まれま

した²。

その一つに、**moo point** があります。**moo** は牛の鳴き声を表し、**moo point** で「牛の意見のように重要ではないこと」という意味になります。英語には **moot point**（論争点、議論の分かれる問題）という定型表現がありますが、登場人物の一人がこれを **moo point** と勘違いしたことから生まれたと言われてます³。

■ インターネット由来の表現

日本語でも、「ググる」（検索エンジンの **Google** で検索すること）、「キボンス」（「希望する」の意味で、「詳細キボンス」のように使う）、「ネット弁慶」（オンライン上のみで攻撃的な発言をする人。「内弁慶」のネット版）など、インターネットから多くのスラングが生まれています。

英語でもインターネット由来の **modern idioms** は多数あります。その一つが、**break the internet** です。文字通りには「インターネットを壊す」ですが、「インターネット上で大きな話題になる、バズる」という意味で使われます。大きな話題になったためアクセスが集中し、インターネットが壊れてしまう様子を想像するとわかりやすいでしょう。

なお、2018 年に公開されたディズニー映画「シュガー・ラッシュ：オンライン」の原題は **Ralph Breaks the Internet** です。映画では、主人公のラルフがネット上でバズる（比喩的意味）だけでなく、インターネットを文字通り破壊してしまう（字義的意味）ため、**break the internet** が一種のかけ言葉となっています。

2 Carroll, G. (2022). *Jumping sharks and dropping mics: Modern idioms and where they come from*. John Hunt Publishing.

3 Carroll, G. (2022). *Jumping sharks and dropping mics: Modern idioms and where they come from*. John Hunt Publishing.

◆ 「ググレカス」を英語で言うと？

インターネット由来の広く知られた modern idiom に、**Google is your friend.** があります。「Google はあなたの友達です」が文字通りの意味ですが、「Google で調べればわかる」「他人に質問する前にそれくらい自分で検索しろ」という意味のスラングです。日本語の「ググレカス」(「Google で検索しろカス野郎」という意味。ggrks と略されることもある)に相当すると考えて良いでしょう。

Google is your friend. は、(1) くだらない質問をされた時、(2) 質問をされたが答える時間がもったいない時、(3) 答えを知らない質問をされた時などに使われます。

例えば、次のような具合です。

A: What is an internet? (インターネットって何?)

B: Google is your friend. (Google で調べなよ)

注) <https://www.urbandictionary.com/define.php?term=Google%20is%20your%20friend> より。

なお、筆者は英語圏のある友人に **Google is your friend.** と言ったところ、**I thought you were a friend, too.** (あなたのことも友達だと思っていたのに) と言われてしまったことがあります。

■ Modern idioms の学習法

Modern idioms を習得する方法はいくつかありますが、まずは関連書籍にあたってみましょう。例えば、*Jumping sharks and dropping mics* (John Hunt Publishing) や *Totally scripted* (Lyons Press) には、映画やテレビ番組から生まれたイディオムが多数取り上げられています。日本語の書籍では、『アメリカ人ならだれでも知っている英語フレーズ 4000』(小

学館) などにも有益です。

辞書を活用するのも効果的です。最近生まれたばかりのイディオムは、当然のことながら辞書に掲載されていません。しかし、月日が経ち、英語表現として定着したものは、辞書の改訂時に追加されることがあります。例えば、「映画由来の表現」でご紹介した **bucket list** (死ぬまでにやっておきたいことのリスト) は、『ジーニアス英和辞典 6 版』(大修館書店) や『コンパスローズ英和辞典』(研究社) などに掲載されており、イディオムとして定着したと考えて良いでしょう。

また、「研究社 Online Dictionary」(<https://kod.kenkyusha.co.jp/>) など、一部のオンライン辞書は定期的に更新されており、modern idioms が収録されていることもあります。さらに、『オーレックス英和辞典』(旺文社) の **Behind the Scenes** というコーナーでは、TV 番組や映画から生まれた modern idioms が多数紹介されています。

スラングを集めたウェブサイトで検索する方法もあります。**Urban Dictionary** というウェブサイト (<https://www.urbandictionary.com/>) では、インターネット・スポーツ・映画・テレビ番組から生まれた様々な modern idioms が検索できます。しかし、Urban Dictionary はユーザーからの投稿で成り立っているため、市販の辞書のように内容が精査されているわけではありません。利用するには注意しましょう。

対話型の AI システムに modern idioms の使い方を聞くのも面白いでしょう。**ChatGPT** (<https://chat.openai.com/>) に「“break the internet” を使った英文を書いて」と依頼したところ、次のような英文を作ってくれました。

Kim Kardashian's latest Instagram post is sure to break the internet.

(キム・カーダシアン最新のインスタグラム上の投稿は、インターネットで大きな話題になることは間違いない)

| | |
|-----------|---|
| 形容詞 + 前置詞 | aware of (～に気づいて)、comfortable with (～に満足で、～が受け入れられる)、concerned about (～を心配して)、familiar with (～をよく知っている)、free of (～がない)、open to (～に開放されている)、ready for (～の準備ができて)、used to (～に慣れている) |
| 動詞 + 前置詞 | approve of (～を認める)、explain A to B (AをBに説明する)、inform A of B (AにBを知らせる)、depend on [upon] ... (～を頼りにする、～次第である)、fixate on ... (～に執着する、こだわる)、refer to ... (～に言及する)、wait for ... (～を待つ) |

文法的コロケーションを習得するコツは、単語を覚える際に、どのような前置詞とともに用いられるかを意識することです。例えば、「agree = 同意する」「provide = ～を提供する」「rob = ～を奪う」と和訳のみを覚えるのではなく、agree with A about [on] B (Bに関してAに同意する)、provide A with B (AにBを提供する)、rob A of B (AからBを奪う)など、よく使われる前置詞とセットで覚えましょう。ある単語と一緒に使われる前置詞は、単語集や辞書などで調べると良いでしょう。

■ ②群前置詞

2語以上で前置詞と同じような働きをするフレーズは「群前置詞」と呼ばれ、これも定型表現の一種です。具体的には、以下があります。

| 群前置詞 | 意味 |
|------------|---------------|
| except for | ～を除いては |
| apart from | ～から離れて、～は別として |
| ahead of | ～の前方に |

| | |
|-------------------|------------------|
| as to | ～に関しては |
| along with | ～といっしょに |
| as a result of | ～の結果として |
| by means of | ～によって、～を用いて |
| as opposed to | ～とは対照的に、～ではなくむしろ |
| at the expense of | ～を犠牲にして、～の費用で |

■ ③直喩表現

固定された直喩 (similes : as や like のような単語を使って、直接二つの事柄を比較するときに使われる表現) も定型表現の一種です。定型的なフレーズは、A as B の形をとります。具体的には、cold as ice (とても冷たい、とても冷酷な)、easy as ABC (とても簡単な)、sweet as pie (とても感じが良い) などが挙げられます。

直喩表現の中には、頭韻 (alliteration; 14章を参照) を踏んでいるものが多くあります。すなわち、同じ音で始まる単語が繰り返し使われているということです。例えば、busy as a bee (非常に忙しい)、bold as brass (非常にずうずうしい) では、いずれも / b / で始まる単語が繰り返されています。その他、thick as thieves (とても親密で、大の仲よしで)、pleased as punch (大満足で)、cool as a cucumber (落ち着き払って) でも頭韻が見られます。

■ ④略語

定型表現の中には、頭文字のみを取った略語として使われるものがあります。具体例を以下に示します。

| 略語 | 元の表現 | 和訳・解説 |
|-------|----------------------------------|---|
| ASAP | as soon as possible | できるだけ早く |
| FYI | for your information | ご参考までに |
| IMO | in my opinion | 私の意見 [考え] では |
| BTW | by the way | ところで、話は変わるが |
| LOL | laughing out loud | 大笑い |
| AWOL | absent without leave | 無断欠勤で • go AWOLで「無断欠勤する、突然いなくなる」の意味。 |
| BRB | be right back | すぐに戻ります、折返し返事します |
| ETA | estimated time of arrival | 到着予定時刻 • 待ち合わせをしている際に What is your ETA? とメッセージが来たら、「到着予定時刻はいつ?」という意味。 |
| RSVP | Repondez s'il vous plaît (フランス語) | ご返事をお願いいたします、招待状の返事、招待状の返事を出す • Please RSVP by 12 October. とあれば、「10月12日までに欠欠の返事をしてください」という意味。 |
| TOC | table of contents | 目次 |
| EOD | end of day | 1日の終わり • EODを締め切りに指定された仕事が終わらなかった際に、「EODはend of day (1日の終わり)ではなく、end of December (12月の終わり)の略だと思っていた」と言い訳をする人がいるという。 • EODはend of discussion (以上討論終了)の略として使われることもある。 |
| TL;DR | too long; didn't read | 長すぎて読んでない、こんな長いの読めるか • TLDRやtl;drなどの表記もある。 |

| | | |
|------|----------------------|--|
| USP | unique selling point | セールスポイント |
| YOLO | you only live once | 人生は一度きり (だからやりたいことをやらなくちゃ) |
| FOMO | fear of missing out | 置いてけぼり (仲間はずれ) 恐怖症 |
| OE | overseas experience | 海外経験 • ニュージーランドで使われるスラングで、ワーキングホリデーなどで海外に滞在すること。長期間におよぶものはbig OEとも呼ばれる。 • 学術用語としてのOEは、Old English (古英語) のこと。 |
| OST | original sound track | オリジナルサウンドトラック (映画やゲームで使用された楽曲) |
| OP | original poster | (オンライン掲示板などで) 一番初めの投稿をし、スレッドを立てた人 |
| DM | direct message | ダイレクトメッセージ • ソーシャルメディアなどで特定の相手に向けて送る非公開のメッセージ。 |

◆クイズ：略語の意味を考えよう

以下の略語は、それぞれ何という定型表現の略でしょうか？考えてみましょう。

1. JK
2. IMHO
3. POV
4. OMW
5. BTS
6. POTUS (ヒント：アメリカの政治)
7. PM

8. NSFW

9. EOF (ヒント: コンピューター)

解答

| 略語 | 元の表現 | 和訳・解説 |
|----------|--------------------------------|---|
| 1. JK | just kidding | ほんの冗談だよ |
| 2. IMHO | in my humble opinion | 私見 [愚見] によれば |
| 3. POV | point of view | 視点 |
| 4. OMW | on my way | 今行きます、今向かっているところです |
| 5. BTS | behind the scenes | 舞台裏で [の] ; 秘密に [の]、ひそかに [な] <ul style="list-style-type: none"> •米国の人気歌手・女優であるセレーナ・ゴメスがインスタグラムに behind the scenes という意味で BTS と投稿したところ、韓国のアイドルグループ BTS (防弾少年団) のことだと勘違いした BTS のファンが反応したという。 |
| 6. POTUS | President of the United States | 米国大統領 <ul style="list-style-type: none"> •VPOTUS は Vice President of the United States で、米国副大統領。 |
| 7. PM | private message | プライベートメッセージ <ul style="list-style-type: none"> •direct message (ダイレクトメッセージ) と同義。また、Prime Minister (総理大臣、首相) を指すこともある。 |
| 8. NSFW | not safe [suitable] for work | 職場ではよろしくない、職場での閲覧に適さない |
| 9. EOF | end of file | ファイルの終わり |

第1章「はじめに」で述べたとおり、定型表現を用いることの利点の

1つに、「言語の制服化」を通じて省エネに寄与することが挙げられます。略語として通じるこれらの表現は、定型表現の省エネ機能をさらに押し進めたものと言えるでしょう。

| コラム | テレビドラマで最も使われる定型表現は何か？

本書では、「比喩的イディオム」「コロケーション」「句動詞」など、定型表現を様々に分類してきました。1章で述べたように、筆者はアメリカの連続テレビドラマ **The West Wing** を視聴して、有用だと思った定型表現を **Notion** というアプリに記録しています。**The West Wing** シーズン3 視聴中に筆者が記録した定型表現を種類別に集計したところ、以下のようにになりました。

| 順位 | 定型表現の種類 | 比率 |
|----|------------------|-------|
| 1 | 複合語 (6章) | 41.9% |
| 2 | 句動詞 (7章) | 14.4% |
| 3 | 比喩的イディオム (2章) | 7.7% |
| 4 | 文法的コロケーション (12章) | 7.1% |
| 5 | 語彙的コロケーション (3章) | 5.4% |
| 6 | 名詞 of 名詞 (10章) | 2.8% |
| 7 | 二項表現 (5章) | 1.6% |
| 8 | 構文 (8章) | 1.3% |
| 9 | 直喩 (12章) | 0.3% |
| - | その他 | 17.4% |

すると、米国 (US) での使用頻度が特に高く、「米口語」「米略式」などの辞書の説明と一致していることがわかります。

また、「リーダーズ+プラス」には、**big potatoes** (重要なもの、大事、大物) という表現も記載されています。**small potatoes** ほど一般的な表現ではないようですが、TV 番組 *The West Wing* (シーズン 2 エピソード 19) では、次のような用例も確認できます。

Toby: This is **small potatoes**. I want to know, when the **big potatoes** come, are we up for it?

(これは大したことじゃない。知りたいのは、大事が起こったときに、僕たちはそれに耐えられるのかってことなんだ)

CJ: **Big potatoes?** Toby, we ran for election. We lived through Leo and booze, Sam and prostitutes, India and Pakistan, Columbia and a failed rescue mission. Are there **bigger potatoes** someplace?

(大事ですって? トビー、私たちは選挙に出たの。レオやサムの不祥事、インドとパキスタンの対立、スペースシャトル・コロンビアと失敗した救出作戦を乗り越えてきた。これ以上の大事がどこにあるの?)

なお、上のセリフを機械翻訳ソフト DeepL (<https://www.deepl.com/translator>) に貼り付けると、**small potatoes** は「小さなポテト」、**big potatoes** は「大きなポテト」、**bigger potatoes** は「もっと大きなポテト」と直訳されてしまいました。AI の進歩に伴い、機械翻訳もめざましく発達していますが、イディオムの和訳は一筋縄ではいかないようです。

2. rain check

GloWbE にアクセスしてから、Search ⇒ Chart をクリックします。そして、rain [check] と入力し、See frequency by section ボタンをクリックしましょう (check を [] で囲んで [check] とすることで、単数形の check と複数形の checks を同時に検索できます)。

検索結果から、米国 (US) での使用頻度が高い一方で、英国 (GB) での頻度は低く、「米」「主に米」などの辞書の説明と一致していることがわかります。

3. ballpark figure / estimate / amount

GloWbE にアクセスしてから、Search ⇒ Chart をクリックします。そして、ballpark figure|estimate|amount と入力し、See frequency by section ボタンをクリックします。figure|estimate|amount のように | (縦線、パイプ) で区切ることで、ballpark figure, ballpark estimate, ballpark amount の 3 つの表現を同時に検索できます (「OR 検索」または「パイプ検索」と呼ばれます)。

検索結果から、米国 (US)・カナダ (CA) での使用頻度が高いものの、英国 (GB) など他の地域でもある程度使用されていることがわかります。ballpark figure / estimate / amount は野球に由来する表現ですが、野球があまり盛んでない地域でもそれなりに使用されているようです。近年では、テレビ・映画やインターネットを通じてアメリカ英語に触れる機会が多いため、この表現が様々な地域に広まっているのでしょうか。

なお、「ジーニアス英和辞典」の第 5 版では ballpark figure / estimate / amount の項には「米略式」とありましたが、第 6 版では「米」が消え、「略式」のみに表記が変更されています。米国以外でもこれらの表現が使われていることを反映しているのかもしれませんが。